

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(12/06)

文・写真：武田、写真：倉谷、山田、山 國

日 時：2018(平成 30)年 12 月 06 日(木) 9:30～14:30

気 象：天候=AM 晴れ→PM 雨 (気温：11℃)

活動エリア：「45 林班ろ-03(人工林)、に-03(天然林)」ほか

活動内容：林床整備・枯損木と過密な広葉樹の除伐、並びに体験参加者の活動地巡回

参加者：(会員)石原順子、内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、工藤貴士、越野雅美、杉本佳英、武田壽夫、

山田真也、宮本 廣、山 國

(体験)小鶴道栄

計 12 名

<冬よ来い(恋?)>

風倒木による登山道・里道の通行障害は 9～11 月の 6 回の作業で何とか解消に漕ぎ付け、今日からは冬間近と言うこともあり、標高の低い 45 林班での活動に移る。とは言え、一昨日の気温は(大阪)最高 24.5℃、最低 15.2℃。全く「冬はどこ?」で、この日の山は 11℃。明日は大寒、「冬ヨ来イ」。

今日の参加は会員 11 人、体験 1 人、計 12 人が顔を揃えるのは週日の木曜日としては稀で、つくづく、会員の増加は心強い。その分、**新入会員の皆さんの思いにも応えられる活動**をと思うし、また、その為にも **JAC 会員諸兄姉の一層の参加が待たれる** 処。なお、会員が増えたこともあり、

作業での注意事項を改めて伝達

(「活動地との往復は団体行動で」、「移動は自然歩道や作業道を利用」、「作業エリアは良く確認して」、「中径木以上の除伐は 2 人以上で安全を確保」、「伐倒はロープ掛け→受け口切り→追い口切り」「笛の合図は受け口切り 1 回、追い口切 2 回」、など)

活動位置はモリタリング調査区の先、里道の北側は人工林の斜面、南側の小尾根は天然林。枯損木除伐や林床整備に取り組む。昼近くから雨が落ち始め、早々に作業止め、下山。

<今日の成果>

会員中 9 人は「45 林班」で 3 班に別れて林床整備、2 人は体験参加者を案内して活動地を一巡。林班組は横たわる放置木を玉切り・棚積みし、枯損木は約 10 本を除伐、このほか、繁り過ぎて日照を遮る広葉樹を数本除伐、除伐後の枝切り・玉切り・棚積みは言うまでもない。面積にして 0.1ha は整備。

体験参加者案内では、活動地巡回の途中で水切りの掘り返し・作業道整備(約 20m)・倒木処理・林床整備に取り組む。

<山だより>

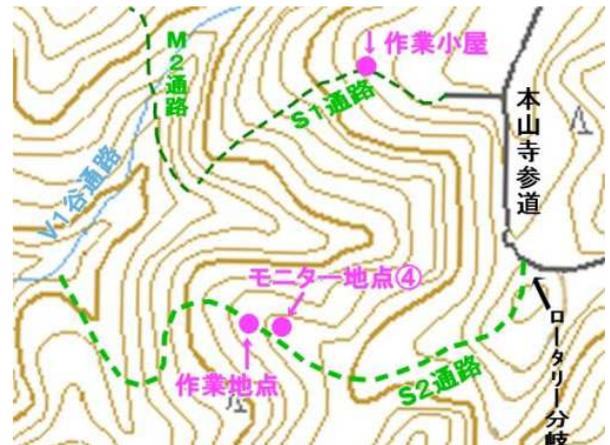
2 景、①昼食場所付近で見つけたサルノコシカケ(直径 20cm はある大物)と②井上会員からの高千穂ノ峰。頂上の「天の逆鉾」は坂本竜馬の書状にも登場。山では**鹿を見かけた**がカメラは追いつかず(残念)

(本文 以上)

① 作業開始(12人揃うと画面からハ出そう)



② 活動地要図(作業小屋より70~80m降りる)



③ 散乱する切り放しの木々



④ 棚積み後



⑤ 先ず作業エリアを確認(先ずどの木から?)



⑥ 二人がかりで引き倒す(一人は安全監視)



⑦ 中折れの枯損木



⑧ 昼の憩い中



⑨ 道具は重宝(高枝切り鋸で中折れ部を切る)



⑩ 受け口切りを実習中



⑪ 径 20cm の大きなサルノコシカケ



⑫ 会員の「山たび」=高千穂ノ峰



御池から高千穂峰 新燃岳は噴煙が少しでした